

2012年(平成24年度) ファーム青葉 第1グループ(第三谷本農園) 春野菜作付・施肥要領

ハウス側より

12.0 m

1番目通路

2番目通路

3番目通路

肥料必要量

作付の要領		なす	トマト	キュウリ	とうもろこし	とうもろこし	隠元	枝豆	大根	ニンジン	ピーマン・しし唐
長さ 22.5m	畝幅 (m)	2.5 m	1.5 m	2.5 m	1.2 m	1.2 m	1.2 m	1.9 m	2.0 m	2.0 m	2.0 m
	端から畝の中心まで (m) を 測量する→	1.25 m	3.25 m	5.25 m	7.1 m	8.30m	9.8 m	11.15 m	中央	中央	中央
	畝の中の列	1列 中央	2 列	2 列	2 列	2 列	2 列	3 列	3列	7列	2列と中央
	個人区画総株数 (2.5m)	2+1 本	5x2 本	2x2 本	7x2 本	7x2 本	6x2 本	14x3 本			54 本
	株間・マルチの種類	80 cm 黒 穴なし	50 cm 黒 穴なし	110 cm 黒 穴なし	30 cm 9230B 2穴並行	30 cm 9230B 2穴並行	35 cm 9235B 2穴千鳥	15 cm — 3列 高畝	15 cm 9315B 3穴並行	クリン・シー ダー 7列	70 cm 黒 穴なし

肥料名	N-P-K	Kg	袋数
横浜軟弱 NP+CDU	15-12-0	40	2
タイニー		60	3
BM苦土重焼燐	0-35-0	60	3
硫酸マグ25		60	3
鶏ちゃんパワー	4-3-2	60	4
ミネカル	転炉スラ	360	18
魚粉肥料	7-6-0	33	3
菜種油粕	5.3-2-1	33	3
ナス・キュウリ配合	9-8-8	80	4
トマト有機配合	7-8-8	40	2
トマト有機配合	7-8-8	40	2

土づくり 元肥・要素肥料 (315㎡) (ミネカルは なす、トマト、キュウリを中心に撒く)	
堆肥	完熟牛ふん堆肥 各組(315㎡)の部分を6等分し、コンテナ2個(28kgx2)を各区割に全面均一に撒き、レイキでならす。 約 1kg/1㎡ となる。
要素	ミネカル 20 Kg X 6 各組 6等分のハウス側3区割なす、トマト、キュウリを中心に全体に撒く2袋ずつを均一に撒く
	1. 硫マグ 2. BM重焼燐 3. タイニー 4. 畑のカルシュウム の4種類の要素肥料は各区画グループで(約60g/㎡) 各ター袋(20 Kg)ずつを舟に入れ、良くかき混ぜ、各区画グループで(1-9) (11-19) (21-29) で均一に撒く(通路部分を含む)

施肥の要領 (各列)		なす	トマト	キュウリ	とうもろこし	とうもろこし	隠元	枝豆	大根	ニンジン	ピーマン・しし唐
	作物一列あたりの 作付け面積(㎡)	56.25 ㎡	33.75 ㎡	56.25 ㎡	27.0 ㎡	27.0 ㎡	27.0 ㎡	42.75 ㎡	45.00 ㎡	45.00 ㎡	45.00 ㎡
	元肥 N・P・K (g / 1㎡)	15・25・15	15・25・15	13・13・11	15・15・15	15・15・15	5・12・5	10・15・10	9-20-8	9-20-8	15・25・15
	必要 N 量 (g)	844g	507g	732g	405g	405g	135g	428g	405g	405g	675g
溝肥	鶏ちゃんパワー	2.5 Kg	2.5 Kg	2.5 Kg							2.5 Kg
	各野菜の配合肥料	5.0 Kg	6.6 Kg	5.0 Kg							5.0 Kg
	魚粉肥料	3.3 Kg	3.3 Kg	3.3 Kg							3.3 Kg
表肥	横浜軟弱 NP+CDU				3.0 Kg	3.0 Kg	1.0 Kg	3.0 Kg	5.0 Kg	5.0 Kg	
	鶏ちゃんパワー	2.5 Kg	2.5 Kg	2.5 Kg							2.5 Kg
	各果菜の配合肥料	5.0 Kg	6.6 Kg	5.0 Kg							5.0 Kg
	セルカ(有機石灰)		5.0 Kg								
	菜種油粕	3.3 Kg	3.3 Kg	3.3 Kg							3.3 Kg

表肥

溝肥	土	トラクター より 深く 30cm 以 上 掘る
	配合肥料・魚粉 棒で引きずって ぽかす。	

各畝、マメトラで溝掘り後、鍬などでさらに深く掘る。

魚粉肥料 なす ピーマン
トマト
キュウリ